

健康経営の推進について



当社は、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと働き続けられる職場づくりを経営の重要課題と位置づけています。従業員自身の健康保持・増進を第一に、あわせて従業員を支える家族の健康にも配慮することで、従業員が安心して長く働き続けられる環境を実現し、個人の活力向上と組織の生産性向上、また持続的な企業価値の向上につなげます。

01 健康経営の目的

● 経営トップからのメッセージ

従業員一人ひとりが健康でいきいきと働くことは、当社の持続的な成長を支える最も重要な基盤です。健康経営を経営の最重要課題の一つと位置づけ、従業員本人はもちろん、その家族の健康にも配慮しながら、誰もが安心して働き続けられる職場づくりに全社一丸となって取り組んでまいります。

02 健康経営の推進体制

● 1. 健康経営に対する経営層の関与

経営層が健康経営の最終的な責任を担う体制としています。経営会議において、健康経営に関する取り組み状況・指標の進捗を経営層が確認し、必要な意思決定を行っています。

● 2. 健康経営を企業横断的に取り組む体制整備の状況

労務課を中心に、当社産業医を含めた施策の企画・実行・効果検証を行う体制を整備しています。

従業員の健康状態やメンタルヘルスの状況を継続的に把握するとともに、男女ともに育児休職や有給休暇を取得しやすい環境整備を行っています。また、長時間労働を削減するための施策を検討しています。

健康課題を解決するための具体的な取り組みの内容



定期健康診断受診の徹底、産業医による保健指導の実施



ストレスチェックの実施と、高ストレス者への面談・フォローアップ体制の整備



社員旅行をはじめとする従業員同士のコミュニケーション促進を目的としたイベント・施策の実施



女性の健康課題に関する周知



育児・介護休業からの復職支援の整備



柔軟な勤務制度（フレックスタイム制、在宅勤務等）の導入による働き続けやすい環境の整備

健康投資施策の取り組み状況に関する指標

指標	実績値（2025年度）
定期健康診断受診率	100%
ストレスチェック受検率	100%
社員旅行への参加率	80%（179名）
女性の健康課題に関する理解度テストの回答率	81%（202名）

健康関連の最終的な目標指標

指標	実績値（2025年度）	目標値（2028年度）
離職率	5%	3%以下
平均勤続年数	2年	4年以上